

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年 月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	膵臓癌・胆道癌
治療法	ゲムシタビン単独療法

	1
抗癌剤・商品名	ゲムシタビン
規格	200mg 1g
一般名	ゲムシタビン
一日投与量(規定)	1000mg/m <sup>2</sup>
患者情報から算出した 一日投与量	<b>1501.12 mg</b>
実際の投与量	<b>1500 mg</b>
	<b>999.3 mg/m<sup>2</sup></b>
投与日	day1,8,15
1クール期間	28日間
予定クール数	
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施

適応基準	膵臓癌、胆道癌
推奨 経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1. 高度な骨髄抑制のある患者 2. 胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 3. 胸部への放射線療法を施行している患者 4. 重症感染症を合併している患者 5. 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 6. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	各投与日の白血球数:2000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数:70,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (添付文書より)
副作用	●ゲムシタビン 重大 1.骨髄抑制 2.間質性肺炎 3.アナフィラキシー 4.心筋梗塞 5.うつ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促迫症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 11.皮膚障害 12.肝機能障害、黄疸 13.白質脳症 その他 総蛋白低下、電解質異常、アルブミン低下、食欲不振、悪心、嘔吐、発疹、疲労感、発熱、 インフルエンザ様症状、放射線照射リコール反応、血小板増加
備考	

# ゲムシタビン単独療法 観察記録

所要時間: 1時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	指示医師: ゲムシタビン ( mg ) 一般名(ゲムシタビン)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由 抗がん剤以外の薬剤の変更・追加	
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与開始時間   調剤   実施
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		1時間30分かけて点滴【167mL/h】	
		生食100mL +ラモセトロン1A +デカドロン 2 A	30分かけて点滴【200mL/h】	
		生食100mL+ゲムシタビン	30分かけて点滴【200mL/h】	
本体終了後抜去				